

タイトル

動物行動センシング技術によるアオウミガメの採餌移動の解明

Foraging migration of green sea turtles revealed by sensing technique for marine animals.

概要

近年、地球規模での自然環境の悪化が進み、脆弱な生物の絶滅が深刻化している。希少生物種の行動・生態解明は喫緊の課題である。水圏に棲息する生物は、直接目で観察することが難しい。このため、行動計測技術を開発し、適用する必要がある。本研究では、ウミガメをモデルとして、海洋生物の採餌行動をモニタリングする技術の開発し、アオウミガメは1日2回の採餌移動を行なうことを明らかにした。



図：動物装着型映像ロガーにより取得したアオウミガメの採餌の様子

URL

産業界への展開例・適用分野

本技術のように深度・加速度・GPSセンサー等を併用すれば、海洋環境において生物がどこで、いつ、どのように振舞っていたかを時空間スケールで定量的に明らかにできる。これは、海洋環境アセスメント技術や海洋環境評価の指標になる。

	氏名	専攻	研究室	役職(学年)
展示担当者	奥山隼一	社会情報	生物圏情報学講座	GCOE助教